

論文 / 著書情報
Article / Book Information

題目(和文)	Public-Private Partnership/Private Finance Initiative事業に関する政策形成のための情報と知識のマネジメントに関する研究
Title(English)	A study on the Management of Information and Knowledge Required for the Formulation of Policies Related to Public-Private Partnership/Private Finance Initiative (PPP/PFI) Projects
著者(和文)	三輪篤生
Author(English)	Atsuo Miwa
出典(和文)	学位:博士(学術), 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:甲第12008号, 授与年月日:2021年3月26日, 学位の種別:課程博士, 審査員:出口 弘,猪原 健弘,村山 武彦,池上 雅子,錦澤 滋雄
Citation(English)	Degree:Doctor (Academic), Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:甲第12008号, Conferred date:2021/3/26, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	論文要旨
Type(English)	Summary

論文要旨

THESIS SUMMARY

専攻: Department of	価値システム	専攻	申請学位(専攻分野): Academic Degree Requested	博士 Doctor of	(学術)
学生氏名: Student's Name	三輪 篤生		指導教員(主): Academic Supervisor(main)	出口 弘	
			指導教員(副): Academic Supervisor(sub)		

要旨(和文 2000 字程度)

Thesis Summary (approx.2000 Japanese Characters)

本研究は「Public-Private Partnership/Private Finance Initiative 事業に関する政策形成のための情報と知識のマネジメントに関する研究」と題して、全6章から構成されている。

第1章「研究の背景」では、政府のマクロ経済政策の指針において、社会資本整備・運用、経済の活性化を効果的・効率的に行うため重要な政策手段と位置付けられている PPP/PFI 政策を個別事業であるプロジェクトの集合を制御する政策をプログラムとして捉え、マネジメントすべきであることを述べている。また、同制御に必要な個別事業のデータを収集し、集計することが重要かつ必要なことであること述べている。さらに、研究の目的、方法及び構成について述べている。

第2章「PPP/PFI の特徴」では、PFI を含む PPP の概念全体の枠組みを示し、PPP と PFI やその他の事業がどのような関係にあるか、その位置付けを示している。また、イギリスにおける PFI の手法開発から現況までの変遷、フランスにおける経緯、米国における現状をまとめとめている。さらに先行研究における指摘をまとめつつ、PFI 事業が過去の我が国の公共事業に見られた欠点について、補う機能を有することを示し、我が国の民間資金等活用事業推進法(PFI 法)の制度改正の変遷についてまとめとめている。さらに、事業制度や事業形態を示しつつ、内閣府が公表している事業件数と各年度の契約額の合計額や他の統計から、その規模感を明らかにしている。

第3章「PPP/PFI 事業の計測に必要な手法の提案」では、PPP/PFI 事業の事業量を他の公的統計と比較できるような形態で収集し、区分して取り扱う信頼できる公的統計は存在していないという事実を踏まえ、事業主体や事業内容などが特定出来る PFI 事業に限れば、一定の情報入手を前提に事業費の正確な計測が可能であると述べている。また、同計測のための具体的手法として PFI 事業を行うに際して設立される特別目的会社(Special Purpose Company)の財務諸表等の勘定科目のデータを利用して事業量を推計する方法を提案している。同方法で推計した JSNA の勘定科目に相当するデータが我が国の基幹統計かつ公会計である国民経済計算(Japanese System of National Accounts: JSNA)の産出額、中間投入額、付加価値額及び総固定資本形成といったフロー編の代表的推計値及びストック編を代表する固定資産に相当する推計値として機能させることが可能であることを明らかにしている。さらに、同方法による PFI 事業を実施する SPC の財務諸表等に相当する想定した勘定データを用いてモデル的試算を行い、それが可能なことを明らかにしている。

第4章「マクロ経済政策に対応するための課題と対応策」では、PPP/PFI 事業について、マクロ経済政策に対応するための課題と対応策について、証拠に基づく PPP/PFI 政策の観点から、PPP/PFI 政策の形成・運用(プログラム制御)に必要な基礎データや定量的評価を推進するための指標を一覧にして提示している。他方で、我が国の社会資本整備を含むマクロ経済の基幹統計であり公会計である JSNA 勘定の固定資産について、PFI の公共施設等運営権事業によるデータを利用することによって推計値がより精度の高い値に改善する可能性を示唆している。

第5章「プロジェクト管理からプログラム管理へー提案を実現するためのプログラム管理の枠組みの構築と評価ー」では、PFI 法の規定を理解し、事業プロセスに取り組めば、事業の品質管理(QC)とその透明性、リスク管理が適切に図られることにつながることを評価し、それを政策という政策分野別マネジメントというプログラムの制御に生かすことが必要であり、政府における政策について、プログラム統合マネジメントを明確化し、互いに連携することが求められていることを指摘し、プログラム統合マネジメントの体系とデータの流れを図示し、政策の企画・運営に際しての判断のために整備すべき基礎的な指標を提示している。

第6章「結論と今後の展望」では、全体の結論と今後の展望を示した。PFI 事業において作成される財務諸表等の勘定データを積み上げることで JSNA と対比し得る精緻な事業量データが形成されることを示した。また、当該データを収集・集計し、利用する指標を作成することは、PPP/PFI 政策に止まらず、政策のプログラムマネジメントへの応用の可能性を示し、政策プログラムの制御の基盤整備につながることを明らかにしている。

備考：論文要旨は、和文 2000 字と英文 300 語を 1 部ずつ提出するか、もしくは英文 800 語を 1 部提出してください。

Note : Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東工大リサーチリポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。

Attention: Thesis Summary will be published on Tokyo Tech Research Repository Website (T2R2).

(博士課程)
Doctoral Program

論文要旨

THESIS SUMMARY

専攻： Department of	価値システム	専攻	申請学位(専攻分野)： Academic Degree Requested	博士 Doctor of	(学術)
学生氏名： Student's Name	三輪 篤生		指導教員(主)： Academic Supervisor(main)	出口 弘	
			指導教員(副)： Academic Supervisor(sub)		

要旨(英文 300 語程度)

Thesis Summary (approx.300 English Words)

This study entitled "A Study on the Management of Information and Knowledge Required for the Formulation of Policies Related to Public-Private Partnership/Private Finance Initiative (PPP/PFI) Projects" consists of six chapters.

Chapter 1 ("Background of the Study") describes the need to view and manage PPP/PFI policy as a program, which is positioned as an important policy tool for the effective and efficient development and operation of social capital and economic revitalization in the government's macroeconomic policy guidelines. It also describes the objectives, methods, and structure of the study.

Chapter 2 ("Characteristics of PPP/PFI") provides an overview of the concept of PPP, including PFI, and clarifies its relationship with other projects and its role. It also outlines the current situation from a historical background in the UK and other countries. It also summarizes the results of previous studies and outlines the changes in the legal system in Japan. It also clarifies the sense of scale of these projects.

Chapter 3 ("Proposal of a Method for Measuring PPP/PFI Projects"), it is pointed out that there are no reliable official statistics that aggregate, classify, and process the volume of projects for each PPP/PFI project in a form that can be compared with other official statistics. As a specific method for this, this chapter proposes a method for estimating the volume of projects using account data such as the financial statements of special purpose companies (SPCs) that are established at the start of PFI projects. It is shown that by applying this estimation method, estimation results corresponding to Japan's National Accounts can be obtained.

Chapter 4 ("Challenges and Solutions in Responding to Macroeconomic Policies") outlines the basic data essential for PPP/PFI policy formulation and implementation (program control) from the perspective of evidence-based PPP/PFI policy formulation and management, and presents the necessary indicators to achieve this.

Chapter 5 ("From Project Management to Program Management: Building and Evaluating a Program Management Framework for Proposal Implementation") points out the need for more clearly integrated program management in government policies.

Chapter 6 ("Conclusions and Future Prospects") presents the overall conclusions and future prospects, and shows that collecting and compiling data on financial statements and other accounts, and creating indicators using them, as shown for PFI projects, can be useful in laying the groundwork for controlling policy programs.

備考：論文要旨は、和文 2000 字と英文 300 語を 1 部ずつ提出するか、もしくは英文 800 語を 1 部提出してください。

Note: Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1 copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東工大リサーチリポジトリ (T2R2) にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。

Attention: Thesis Summary will be published on Tokyo Tech Research Repository Website (T2R2).